

平成 30 年 12 月 25 日
リサイクル燃料貯蔵株式会社

リサイクル燃料備蓄センターの現在の状況について

1. 新規制基準適合性審査の状況について

これまでの主な審査項目の進捗状況は、下表のとおりです。

施設関係に関しては、津波評価方針のうち津波防護方針等への指摘（解析に用いているパラメータの考え方や妥当性の整理）を受けた件について、11月20日の審査会合で回答し、審議を受けました。その結果、当社からの回答・説明に対して、「貯蔵建屋が受ける水圧が、水深係数1.5に基づく10.5mの静水圧であることの妥当性を整理して説明すること」の指摘がなされ、継続審議となりました。

地震等関係に関しては、9月14日の審査会合における火山影響評価の追加の指摘（恐山の活動に関する説明の充実）について、11月30日の審査会合で回答・説明を行いました。その結果、当社からの回答・説明に対し妥当な検討が行われたものと評価されるとともに、地震等関係については、審査会合において今後審議すべき論点がないことが確認されました。当社は、この確認が得られたことから、地震等関係については、これまでの審議内容を踏まえて、事業変更許可申請書の一部補正を実施していくことといたします。

審査区分	これまでに確認された項目	今後の確認項目
施設関係	<ul style="list-style-type: none"> ○設計基準関係（「基本的安全機能【臨界防止、遮蔽、閉じ込め、除熱】」「損傷の防止【火災、竜巻等】等」） ○耐震設計の基本方針 ○津波評価方針のうち、津波防護方針等（漂流物による影響、浸水による影響、浸水対策） 	<ul style="list-style-type: none"> ○津波評価方針のうち、津波防護方針等の審査会合（4/26, 9/21, 11/20）での指摘事項「水圧による荷重の考え方、水圧による影響」への回答
地震等関係	<ul style="list-style-type: none"> ○火山影響評価 ○地質・地質構造 ○地震動、基準地震動、基準地震動の年超過確率、基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価 ○津波評価方針のうち、仮想的大規模津波の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ○審査会合の審議は終了

詳細については、当社ホームページから確認することができます。

(<http://www.rfSCO.co.jp/>)

以 上